

サトウキビ「KY96-189」を熊毛および奄美地域の奨励品種に採用	分類	普及技術
〔要約〕サトウキビ「KY96-189」を熊毛・奄美地域の奨励品種に採用した。「KY96-189」は、発芽、株出萌芽が優れる。初期生育が旺盛で、分けつ性に優れ茎数が多く、茎伸長も良いため、多収である。また、「NiF8」より早期高糖である。		
農業試験場徳之島支場作物研究室 農業試験場熊毛支場作物研究室	連絡先	0997-86-2004 0997-22-0097

〔背景・ねらい〕

本県の主要品種「NiF8」は、高糖、多収で黒穂病などの主要な病害への抵抗性を具える品種であるが、熊毛地域の12月の収穫では、糖度が低く、株出における萌芽の不良、収量の不安定さが問題となっており、奄美地域でも近年生産量が減少している。単収の高位安定には春植では3月までの植え付け、株出では前作収穫後の迅速な株出管理が有効であるが、現在の収穫期間では作業の競合によって実施できない場合が多いことから、両地域の生産安定のために、主要品種の「NiF8」に比べ早期高糖で、株出萌芽性の高い、多収品種が強く望まれている。

〔成果の内容・特徴〕

1 奨励品種に採用する理由

「KY96-189」は発芽、株出萌芽、分けつ性に優れ、初期生育が旺盛で、生育期の茎数が多く、仮茎長が高い。また、黒穂病などの主要な病害にも強く、風折抵抗性が強いいため、台風による茎の折損被害が「NiF8」並に少ない。熊毛地域の株出では、「NiF8」に比べ、原料茎数が多く、多収である。また、早期高糖で12月～1月収穫における糖度は、「NiF8」に比べて高く、収穫期前半の品質向上が図れる。奄美地域では、春植、夏植、株出の3栽培型とも原料茎数が多く、多収である。早期高糖で糖度は「NiF8」に比べやや高いため、年内収穫の品質向上が図れる。株出適性も高いため、春植・株出体系が推進され、収穫面積の安定確保、単収向上によって、省力・低コスト化が図れる。

2 品種の来歴と特徴

(1) 来歴 交配年度：平成7年

交配組合：KF89-66の野外自然受粉（国際農林水産業研究センター沖縄支所）

育成地：九州沖縄農業研究センター作物機能開発部さとうきび育種研究室

(2) 特性の概要

ア 生育・収量：「KY96-189」は発芽、株出萌芽とも優れ、初期生育が旺盛で茎数の増加が早く、茎伸長も良い。原料茎長は長い、茎径は細く、茎数が多い茎数型である。熊毛地域では春植はやや少収だが、奄美地域では春植、夏植とも多収で、特に株出では両地域とも「NiF8」に比べ多収である。

イ 品質：早期高糖性で糖度の上昇が早く、ブリックス、蔗汁糖度は「NiF8」より高いが、繊維分がやや多いため、可製糖率は高いか同程度である。収量が多ので、可製糖量は「KY96-189」が多い。

ウ 病害抵抗性：黒穂病抵抗性は「中」、葉焼病、さび病抵抗性は「NiF8」並の「強」である。

エ 障害抵抗性：風折抵抗性は「NiF8」に比べやや強い。耐倒伏性は「NiF8」並である。

〔成果の活用面・留意点〕

(1) 適応地域の範囲は、熊毛地域および奄美地域である。

(2) 茎数が多くやや細茎のため、ハーベスタ収穫が効率的である。

(3) 熊毛地域では、12月～1月収穫用高糖品種として、また「NiF8」の低糖度地帯に導入する。

(4) 奄美地域では、ハーベスタ収穫比率の高い地域の「NiF8」の一部に替えて普及する。

[具体的なデータ]

系 統 名 : KY96-189		組 合 せ : KF89-66の野外自然受粉					
試 験 地		育 成 地 (鹿児島県西之表市)		鹿児島県熊毛支場 (鹿児島県西之表市)		鹿児島県徳之島支場 (鹿児島県伊仙町)	
項目\系統・品種名	KY96-189	NiF8	KY96-189	NiF8	KY96-189	NiF8	NiF8
発 芽	良	良	良	良	良	良	良
萌 芽	良	良	良	良	極良	良	良
初 期 伸 長	極良	良	極良	良	極良	良	良
分 げ つ 性	やや強	中	やや強	中	やや強	中	中
登 熟 性	早	やや早	早	やや早	早	やや早	やや早
脱 葉 性	中	易	中～やや難	中	やや難	易	易
黒穂病抵抗性	中	強	—	強	—	強	強
葉焼病抵抗性	強	強	—	強	強	強	強
さび病抵抗性	強	強	—	強	強	強	強
モザイク病抵抗性	強	強	—	強	—	強	強
風折抵抗性	強	やや強	強	やや強	強	やや強	やや強
耐 倒 伏 性	やや強	やや強	やや強	やや強	やや強	やや強	やや強
春 植	原料茎長 (cm)	235 (105)	223	210 (109)	193	199 (112)	178
	原料茎数(本/a)	941 (108)	869	865 (101)	859	1034 (119)	871
	原料茎重(kg/a)	693 (96)	721	588 (89)	662	643 (109)	593
	甘蔗糖度 (%)	14.1 (102)	13.8	14.1 (110)	12.8	15.8 (101)	15.7
	可製糖量(kg/a)	94 (100)	94	77 (99)	78	93 (107)	87
株 出	原料茎長 (cm)	254 (112)	227	242 (113)	215	224 (119)	189
	原料茎数(本/a)	984 (106)	925	1030 (129)	800	895 (131)	684
	原料茎重(kg/a)	865 (115)	749	800 (117)	681	646 (123)	520
	甘蔗糖度 (%)	13.5 (103)	13.1	14.3 (115)	12.4	14.6 (98)	14.9
	可製糖量(kg/a)	109 (121)	90	107 (139)	77	85 (120)	71
夏 植	原料茎長 (cm)	—	—	—	—	264 (104)	254
	原料茎数(本/a)	—	—	—	—	1194 (140)	856
	原料茎重(kg/a)	—	—	—	—	1113 (110)	1008
	甘蔗糖度 (%)	—	—	—	—	16.0 (104)	15.4
	可製糖量(kg/a)	—	—	—	—	167 (115)	146
調 査 期 間	春植 3 作 H14～16年度(生検)		春植 3 作 H14～16年度(奨決)		春植 4 作 H12(系適) H14～16年度(奨決)		
	株出 3 作 H14～16年度(生検)		株出 2 作 H15～16年度(奨決)		株出 4 作 H13(系適) H15～16年度(奨決)		
	—		—		夏植 2 作		
	—		—		H15～16年度(奨決)		

注)1. () 内は標準品種NiF8に対する比率(%)を示す。

2. 育成地の春植は1月上旬, 株出は12月上旬の調査結果である。

3. 熊毛支場の春植は1月中旬, 株出は1月上旬の調査結果である。

4. 徳之島支場の春植は1月中下旬, 株出の平成13・15年は12月中下旬, 平成16年は1月上旬, 夏植は1月中旬の調査結果である。株出は, 平成13・15年は春株のみ, 平成16年は春株・夏株の2栽培型。

[その他]

研究課題名: さとうきび高品質多収性品種選定試験 (農試徳之島支場)

さとうきび北限地域適品種の選定と省力・安定生産技術の確立(農試熊毛支場)

予算区分: 県単

研究期間: 平成17年度(平成14～16年)

発表論文等: 平成12～16年度 サトウキビ試験成績書(農業試験場徳之島支場)

平成14～16年度 サトウキビ試験成績書(農業試験場熊毛支場)